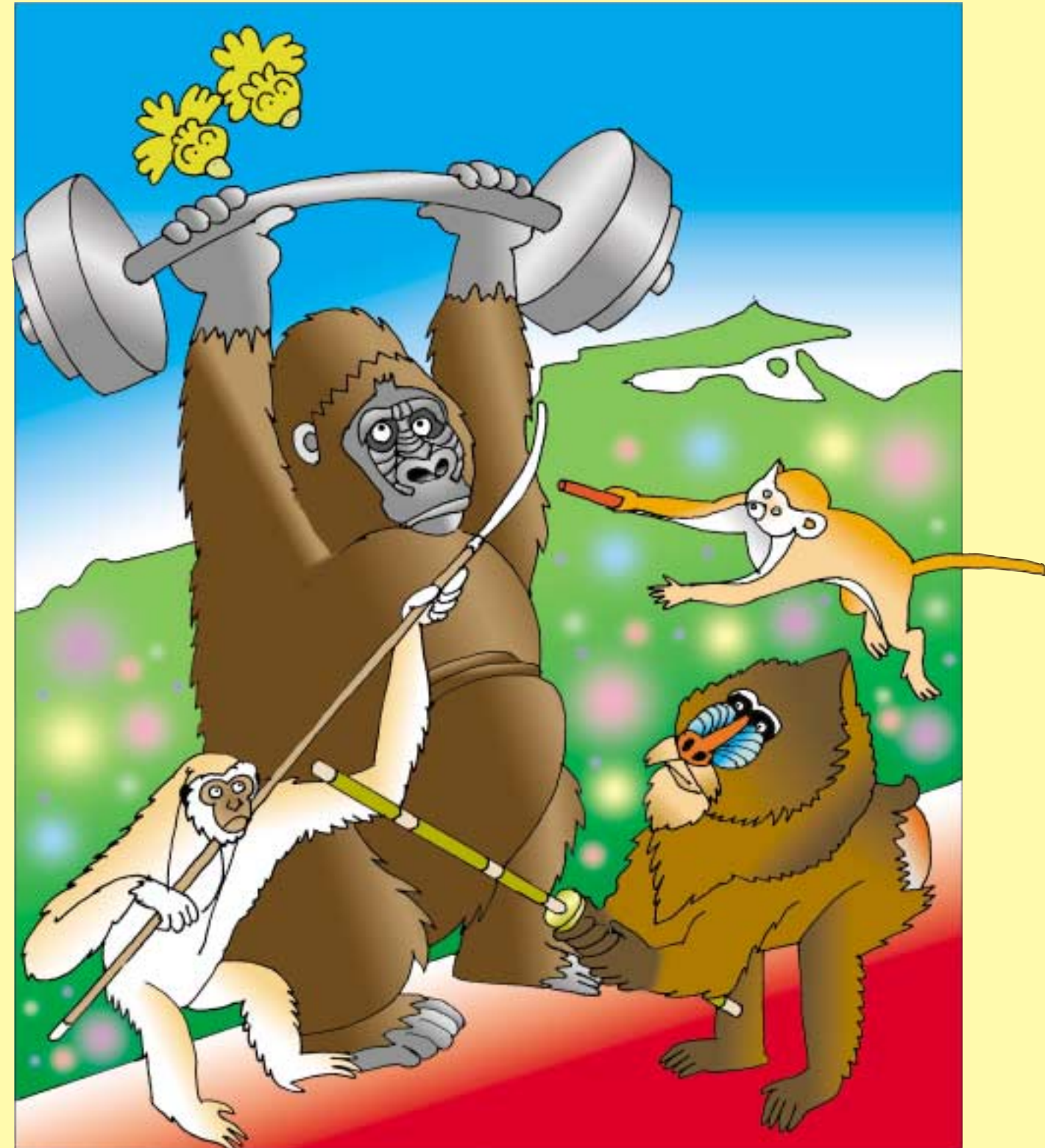
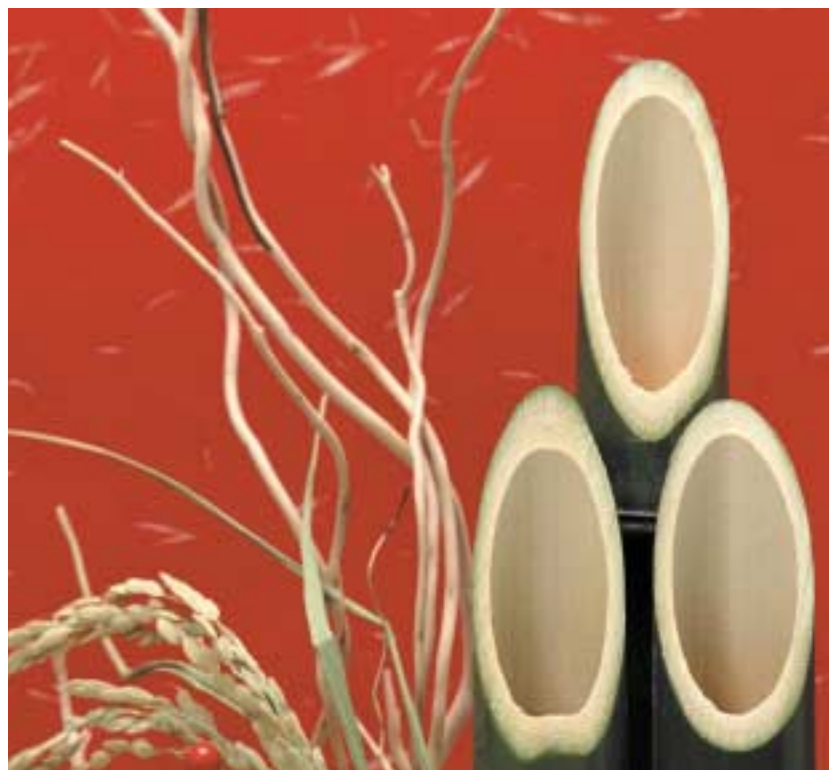


建設会報 いずも

No.109 2004年新春号



編集・発行人 (社)島根県建設業協会出雲支部
経営改善研究委員会



C O N T E N T S

- 巻頭言／中筋豊通〔(社)島根県建設業協会出雲支部長〕……1.
- 役所から新年のメッセージ
 - ／田中 靖〔国交省斐伊川・神戸川総合開発工事事務所長〕…2.
 - ／山本 博〔出雲労働基準監督署長〕……………2.
 - ／門脇 廣〔出雲土木建築事務所長〕……………3.
- 平成15年度大臣顕彰……………3.
- 平成14年度優良工事表彰……………4.5.
- 優良工事表彰を受賞して
 - ／飯浜 健〔(株)トガノ建設〕……………6.
 - ／角 隆二〔(有)山下組〕……………7.
- 年男の抱負／桐野 治彦〔(株)トガノ建設〕……………8.
 - ／板倉 広明〔(株)板倉重機〕……………9.
 - ／飯塚 浩延〔(有)飯塚組〕……………10.
- 出雲支部研修視察旅行に参加して
 - ／飯塚 強〔経営改善研究委員〕……………11.
- 建設産業対策について／島根県土木部土木総務課……………12.
- 参考資料 ～建設業一口メモ～……………13.
- 編集後記／三原 昇〔経営改善研究委員〕……………14.



オンリーワンを目指して

<2004年「申年」に学ぶ>

(社) 島根県建設業協会出雲支部

支部長 中筋豊通

新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、新春を健やかに迎えの事と、お慶び申し上げます。

さて、羊から申へ。

「申」は、「日」と「丨」を合わせた字で、日は古い形で見ると、臼で、両手を意味します。「丨」は、まっすぐなもの、のびている状態。申は、まっすぐなこと、両手でまとめている形を合わせたものともいい、両手で引っ張って、まっすぐ伸ばしている形ともいいます。「申＝伸」縁起の良い字です。

しかし、「申＝猿」と云えば、ご存じの童話「猿蟹合戦」を思い出しませんか。

猿は自分の拾った柿の種を、蟹の拾った握り飯と交換し、握り飯を食べてしまいます。蟹はその種をまき大切に育てます。その甲斐あって、やがて柿は生長したくさんの実をつけました。猿は親切ごかしに木に登り、自分は甘そうな柿を食い、蟹に渋い柿を投げつけて、殺してしまいます。蟹の子は憤慨して、臼、杵、蜂、栗などの助けを得て親の恨みを晴らします。ずるくて、小オのきく「猿」、悪知恵の働く「猿」、やはり、結末は最悪ですね。

ことわざを見てみましょう。

- ・「猿が仏を笑う」小利口な者が、深い知恵ある人の真の偉さが分からずに、あざけり笑うこと。大智は小智の者には、はかり知ることが出来ないというたとえ。
- ・「猿の尻笑い」自分の尻が赤いことに気づかないで、他の尻を笑う意味。自分の欠点や短所などに気づかず、他人を馬鹿にすることのたとえ。
- ・「猿の人真似」よく考えもしないで他人の所作を真似ること。うわべだけ他人の真似をして飾ることのたとえ。
- ・「猿も木から落ちる」その道に優れている人でも、時には失敗をすることがあるというたとえ。

『猿→自分・各社』に置き換えて見ると、『愚かな己』が見えてきます。

きのえさる
「甲申」「猿」が私達に、2004年は、伸びることが出来るか出来ないかの分岐点、小智な己を知り、もう一度しっかりと基礎を、元を学び直す年。さらに、いい気になるなよ、身の程を知りなさいよ、分相応ですよ、そう警鐘を鳴らしてくれています。

今こそ、他社や周りを気にせず、自社を見つめ直し、何で生きていくのか、どう進むのか、「オンリーワンを目指し」やるべき事をきっちりやること。

弱音をはいても何も変わらない。さあ己を、自社を磨きましょう。

ありがとうございました。今年もお世話になりますが、宜しくお願い致します。

役所から 新年のメッセージ



国土交通省
斐伊川・神戸川総合開発工事事務所

所長 田中 靖

当事務所では、島根県東部地域の安全・安心を確保するための斐伊川・神戸川治水3点セット(上流、中流、及び下流での対策)の内、上流でダム建設(志津見ダム、尾原ダム)を担当しています。

両ダム建設は、いよいよダム本体建設段階に入ってきました。志津見ダムは、この3月にダム本体工事を発注する予定です。また、現在建設中の国道184号線の付替え部分につきましては、本年中に全線を供用開始する予定です。

一方、尾原ダムの方では、ダム本体工事の準備工事であるバイパス水路トンネル(現在建設中)の17年度完成を目指して鋭意工事を進めると共に、未だ進捗度が低い付替え町道の建設に全力をあげる考えです。本年もご協力方よろしくお願ひいたします。



志津見ダム



尾原ダム



出雲労働基準監督署

署長 山本 博

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、日頃から労働基準行政の推進にあたり格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

建設業の労働災害は長期的には減少傾向にありますが、昨年は島根労働局管内において、一昨年の2名を大きく上回る8名もの尊い命を失うという残念な結果となってしまいました。

本年は、昨年の建設業の死亡災害の多くを占める墜落転落災害、重機災害の防止対策をなお一層推進強化し、安全衛生意識の高揚を図っていきたいと考えておりますので皆様におかれましても労働災害防止に向けての強力な取り組みをお願い致します。

最後に貴会及び会員各位の益々のご発展を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

